

協会からのお知らせ

..... 情報システム調達モデル研究会の設置について ～地方自治体における調達改革のあり方～

◆はじめに

財団法人ニューメディア開発協会では、地方自治体における電子自治体構築のための情報システム調達について、関係自治体とともに実務的なレベルの研究をおこなうために「情報システム調達研究会」を設置することとなりました。

現在、政府においてはe-Japan重点計画のもと、行政サービスの向上と行政事務の効率化のために導入する「情報システムの調達に係る改革」が進められています。

そのような状況において、地方自治体においても電子自治体の構築による行政サービスの向上と業務改革を推進するために、予算を適正に配分し効率的な投資を行うことによって、高品質でセキュリティの高い情報システムを調達することが重要な課題となっています。

本研究会においては、地方自治体が適正かつ有効に情報システムの調達を行えるよう、その具体的な手順等を含めた調達モデルを策定し、実務の実行レベルにおける活用について研究・実証を行うことによって、地域における調達のための手法を確立し、広く普及することを目的とするものです。

◆研究目的

本研究会においては、先行事例として高知県策定の「高知県情報システム調達ガイドブック」を取り上げ、地方自治体におけるシステム調達のあるべき姿を研究するとともに、その結果を踏まえた次フェーズにおける導入マニュアルの運用のための技術・環境等を整備し、提案することを目的として、以下の研究を行います。

【テーマ1】

地方自治体の現状を踏まえた、情報システム調達のあり方の研究（先進事例調査、既存導入システムの評価、導入マニュアルの仮想導入評価）

【テーマ2】

地方自治体の情報システムの調達における、国、企業等に係る課題の整理と提案・提言（自治体間協調のあり方、調達ガイドブックの維持スキームの検討）

【テーマ3】

次フェーズにおける実証研究の検討スキームの提案

◆経過と予定

【第1回研究会】

日時：平成15年11月6日（木）15：00～17：00（終了）

場所：高知電気ビル別館101号室

住所：高知県高知市本町4丁目1番16号

【第2回研究会】

日時：平成15年12月5日（金）15：00～17：00（終了）

場所：経済産業省 商務情報政策局第一会議室

住所：東京都千代田区霞が関1丁目3番1号

【第3回研究会】

日時：平成16年1月30日（金）14：00～17：00

場所：沖縄県浦添市浦添市役所

【第4回研究会】

平成16年3月中旬

とりまとめ、提言：平成16年3月末

※ワーキング研究会による検討会を随時開催。

◆研究会の構成等

委員長：東京工業大学 フロンティア創造共同
研究センター情報系研究機能教授
大山 永昭氏

委員：高知県、神奈川県、岐阜県、岡山県、
福岡県、横須賀市、神戸市、浦添市

オブザーバー：経済産業省、株式会社プロシード

事務局：財団法人ニューメディア開発協会（事務局支援：高知県）

※本研究会には地方自治体をはじめとする関係の皆様が、オブザーバーとして参加して頂いても結構です。

参加をご希望の方は、住所、氏名、職業及び所属、連絡先を明記の上、下記メールアドレスまで事前登録をお願いいたします。

また、ご意見、ご質問につきましても下記メールアドレスにて受け付けております。

◆お問い合わせ先

財団法人ニューメディア開発協会（担当：三宅、松原）

住所：〒108-0073 港区三田1-4-28 三田国際ビル23階

TEL：03-3457-0672 FAX：03-3451-9604

E-mail：matubara@nmda.or.jp

URL：http://www.nmda.or.jp/

.....「シニアネット・フォーラム21inTokyo」のご案内.....

本フォーラムは、「メロウ・ソサエティ構想」推進の一環として、昨年度に引き続き実施するもので、今回で3回目を迎えます。地域に根ざした活動を展開するシニアネットの全国的な普及拡大を図るとともにその活性化を図ることで、シニアの自立と社会参加・社会貢献をより一層促進させ、地域の活性化・産業の活性化につなげてまいります。シニアネットの方々、企業・自治体の関係者の方々の多数のご参加をお願い致します。

◆開催概要

【開催目的】

当協会では、「シニアネットワークによる市場創造コラボレーションに関する調査研究」を推進しています。当事業は、高齢社会に必要な商品・サービス、社会の仕組み等に関し、高齢者自らの創意工夫を社会に向けた提案としてまとめる環境をインターネット上に構築すると共に、オフラインの会合を有機的に組み合わせ効果的な意見収集を行うなど、高齢者自らが社会に提案していける方策について実証的な調査研究を行うものです。

本事業を推進するために、高齢者の活動基盤として全国にあるシニアネットの活動を通じて展開することが最も効果的と考えています。「シニアネット・フォーラム21 in Tokyo」は当事業の一環である「オフライン会合」と位置づけ、平成15年9月に広島で開催した「シニアネット・フォーラム21inひろしま」に引き続き開催するものです。

【テーマ】

「シニアネット・フォーラム21 in Tokyo」～21世紀にはばたけ！ シニアネット パワーアップ宣言～

【日 時】

平成16年2月2日(月)午前10時30分～午後4時45分／2月3日(火)午前10時～午後4時

【場 所】

日本青年館
〒160-0013 東京都新宿区霞岳町7番地1号

【主 催】

財団法人ニューメディア開発協会

【後 援】

経済産業省

【協 力】

NPO法人自立化支援ネットワーク

【プログラム】

「シニアネット・フォーラム21 in Tokyo」プログラム
ムご参照

【参加予定数】

約200人のシニアネットワーク

【ご参加希望者】

- ①全国で活躍中のシニアネット、シニア情報生活アドバイザー、シニアネットワーク
- ②企業の社会貢献、シニアマーケティング、バリアフリー商品企画開発販売等の関係者
- ③全国自治体等のシニア関係、福祉関係、NPO推進、コミュニティビジネス推進等関係者
- ④全国のNPO・コミュニティビジネス等推進責任者、担当者
- ⑤その他本テーマに興味をお持ちの方どなたでも

【参加費】

無料

ホームページ(<http://www.nmda.or.jp/mellow>)や郵便、FAXで事前に申し込みを受付ます。当日受付も可。

「シニアネット・フォーラム21inTokyo」プログラム

1. 2月2日(月)【会場：日本青年館】	予定時刻
①開会 オープニング	10:30
②主催者挨拶 岡部 武尚 財団法人ニューメディア開発協会理事長	10:35
③来賓挨拶 経済産業省商務情報政策局サービス産業課課長補佐	10:40
④基調講演Ⅰ 田中 尚輝 NPO法人NPO事業サポートセンター常務理事 「21世紀はシニアネットの時代」(仮題)	11:00
⑤基調講演Ⅱ 清原 慶子 東京都三鷹市長 「21世紀の『まちづくり』とシニアネット」(仮題)	13:00
⑥パネル・ディスカッション 「シニアネットパワーの源泉と展望」(仮題) ■コーディネーター 田中 尚輝 NPO法人 NPO事業サポートセンター常務理事 ■パネリスト 小池 達子 メロウ倶楽部 末久 秀子 杉並区役所区民生活部 地域人材・NPO担当 課長 高原 茂 財団法人 住友生命社会福祉事業団 福祉担当 部長 野明 宏巨 NPO法人 ICP地域振興協会 専務理事 堀池 喜一郎 NPO法人 シニアSOHO普及サロン・三鷹 代表理事	14:15
2. 2月3日(火)【会場：日本青年館】	
①ワークショップ	10:00
A:「シニアネットが『学び』を通して地域を変える」 課題提供者: 塩見 信雄 NPO法人 シニアネットひろしま 理事長 中島 浩 生涯現役ときわ会 副代表世話人	10:05
B:「シニアネットが『交流』の輪を広げる」 課題提供者: 大内 秀明 NPO法人 シニアのための市民ネットワーク仙台 (シニアネット仙台) 理事長 田鍋 晴久 シニアネット北九州 会長	
C:「シニアネットが新しい『ビジネス』を創出する」 課題提供者: 船橋 利幸 NPO法人 新現役ネット 事務局長 堀池 喜一郎 NPO法人 シニアSOHO普及サロン・三鷹 代表理事	
E:「シニアネットが『まちづくり』を提案する」 課題提供者: 内藤 達郎 きららの会 会長 柳原 正年 富山社会人大楽塾 代表	
E:「シニアネットが『ITライフ』を提案する」 課題提供者: 砂川 正男 NPO法人 沖縄ハイサイネット 会長 新美 勝利 NFUジャンプシニア 代表幹事	
②ワークショップ発表 ワークショップA～Eの各代表、計5名	15:00
③クロージング・セッション 終わりに当たって 奈良原 真吉 NPO法人 自立化支援ネットワーク 理事長	15:50
④閉会	16:00

(テーマ及び講演者等は変更する場合があります)

「情報化フェスタ2004」のご案内

【開催目的】

我が国においては、e-japan計画に基づき、電子政府構築に向けて様々な取り組みがなされている。そこで、全体テーマを「電子政府・電子自治体の今後の動向」として、官民連携ポータルやEA（エンタープライズ・アーキテクチャー）等の電子政府構築にかかる重要な取り組みを中心に報告・発表し、更なる我が国の情報化の促進を図る。

【日 時】

平成16年2月17日(火) 13:00～17:00
18日(水) 10:00～16:00

【場 所】

東京会場：六本木アカデミーヒルズ
最寄駅 地下鉄日比谷線「六本木駅」
大江戸線「麻布十番駅」
都バス「六本木六丁目」
大阪会場：ホテルプリムローズ大阪(2月18日のみ)
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目駅」

【主催者他】

主 催 者：経済産業省
実行事務局：財団法人ニューメディア開発協会
協 力：財団法人社会経済生産性本部

【参加者対象】

関係省庁、関係自治体、関係団体、ベンダー企業
(入場料は無料)

【プログラムの概要】

《第一日目》2月17日(火)

- I 「ユビキタス社会における電子政府・電子自治体の役割」(東大教授 須藤修氏)
- II 「海外のEAの状況」(米国人講師 パトリック・ボルトン氏)
- III パネルディスカッション「先端ITを駆使した官民協働型電子政府の実現」
コーディネータ 東工大教授 大山永昭氏
パネリスト 三鷹市長 清原慶子氏
パナソニックシステムソリューション社
社長 秋山正樹氏
経済産業省 牧内勝哉氏

《第二日目》2月18日(水)(3分科会同時進行)

分科会テーマと内容

- (1)官民ポータル事業 (大阪会場、東京会場)
 - ・官民連携ポータル事業について
 - ・「創業ナビ」について
 - ・GPP方式における官民共通インターフェース仕様の手続きの一元化
 - ・引越手続一元化ポータルサイト「引越連絡帳」について
- (2)EA(業務・システム最適化計画)(東京会場)
 - ・BRM及びEAの進捗状況
 - ・CIO補佐官の役割
 - ・金融庁における民間サービスとしての電子政府のあり方
 - ・地方自治体におけるEAの取り組み
- (3)電子政府・電子自治体を支える基盤(東京会場)
 - ・官民一体における今後のICカード利活用
 - ・多機能チップを活用した新たなITサービスについての可能性
 - ・電子政府・電子自治体における住基ネットカードの役割
 - ・パネルディスカッション(住基ネットカードのさらなる普及促進のために)

【連絡先】

財団法人 ニューメディア開発協会 推進グループ
〒108-0073
東京都港区三田一丁目4番28号 三田国際ビル23階
TEL:03-3457-0673 FAX:03-3451-9604

(テーマ及び講演者等に変更する場合があります)



.....「メロウ・シンポジウム2004」のご案内.....

わが国では、約15年後には、人口の約33%、およそ3,400万人が65歳以上の高齢者という、世界でも例のない速さで高齢社会を迎えることが予測されております。

この急速な高齢化に対応して、情報技術・システムなどの活用により、ゆとり豊かで活力のある高齢社会の実現を目指し、高齢者の積極的な社会参加を支援していくことが、経済産業省の長寿社会対策及び情報化施策の一つである「メロウ・ソサエティ構想」です。

本シンポジウムは、この「メロウ・ソサエティ構想」の普及・啓発活動の一環として、広く社会の理解と関心を喚起するとともに、高齢者自身が意識を変え、これからの生き方を自ら考えて頂く場とするために下記により開催致します。

◆実施要領

【名 称】

「メロウ・シンポジウム2004」～テーマ：脱シニア宣言！ ～シニア・ビー・アンビシャス。光る年の重ね方～

【日 時】

平成16年3月5日(金)午後1時～午後5時30分

【場 所】

有楽町朝日ホール(マリオン12階)
〒100-0005 東京都千代田区有楽町2-5-1

【プログラム】

(「メロウ・シンポジウム2004」プログラムご参照)

【主 催】

財団法人ニューメディア開発協会

【協 賛】(予定、五十音順)

財団法人健康・生きがい開発財団
財団法人シニアルネサンス財団
財団法人自由時間デザイン協会
社団法人長寿社会文化協会
日本ウエルエージング協会
社団法人日本テレワーク協会

社団法人ビューティフルエージング協会

【後 援】

経済産業省

【ご参加予定数】

500人

【対 象】

- ①主催・協賛団体の事業に関心のある高齢者及び高齢者予備世代
- ②主催・協賛団体の事業推進関係者(自治体・企業・団体など)

【参加費】

800円／一人

【連絡先】

財団法人 ニューメディア開発協会 推進グループ
〒108-0073

東京都港区三田一丁目4番28号 三田国際ビル23階
TEL:03-3457-0673 FAX:03-3451-9604

「メロウ・シンポジウム2004」プログラム

		予定時刻
開場・受付開始		12:30
①開会	オープニング	13:00
②主催者挨拶	岡部武尚 財団法人ニューメディア開発協会 理事長	13:05
③来賓挨拶	岩田悟志 経済産業省商務情報政策局審議官 (予定)	13:10
④基調講演	養老孟司 東京大学名誉教授・北里大学教授 「壁」の向こうの輝く人生～シニアライフを豊かにする秘訣～(仮題)	13:15
休憩		14:15
⑤パネル・ディスカッション	「光る年の重ね方を求めて」(仮題) ■コーディネーター 竹内 宏 元長銀総合研究所理事長 ■パネリスト 大川 加世子 コンピューターおばあちゃんの会 会長 玉川 雄司 京都シルバーリング 代表理事 長野 ひでこ 絵本作家 北川 安洋 (株)ジーバ 代表取締役 桜井 一郎 NPO法人 早稲田創業支援機構 代表	14:30
⑥閉会		17:30

(テーマ及び講演者等は変更する場合があります)

.....「EA(エンタープライズ・アーキテクチャ)」研修会開催報告.....

現在、民間企業等においては、EA(エンタープライズ・アーキテクチャ)、すなわち「業務・システム最適化計画」の推進による経営基盤の強化が不可欠となっています。当協会では、このようなEAに係る専門的な知識およびスキルを持った人材を数多く育成することを目的として、EAに関する知識・技術を体系的に習得する、下記の研修会を実施しました。(次回予定：未定)

【日 時】

2003年10月11日(土)～11月29日(土)

毎週土曜日8日間各日9:30～18:00

【会 場】

中央青山監査法人本部・東京事務所 会議室
東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル25階

【主 催】

財団法人ニューメディア開発協会

【コース目標】

＊EA(業務・システム最適化計画)を実際に企画するために必要な技術を習得する。

＊EAを推進するために必要なコミュニケーション、推進テクニックを習得する。

【講 師】

中央青山監査法人ITアカデミー

【コース内容】

	日 時	研 修 内 容 予 定	
		AM	PM
第1回	10月11日(土) 9:30～18:00	ビジョン、ミッション確認 事前確認テスト、FFS分析	(ボトムアップ式DFD作成) 1.ファンクション分析(DMM)
第2回	10月18日(土) 9:30～18:00	2.抽象化前プロセスモデル作成 3.プロセスの抽象化(DFD作成)	4.情報分析(帳票等から属性を抽出) 5.EEM作成
第3回	10月25日(土) 9:30～18:00	6.情報モデル作成 (UMLクラス図)	7.業務最適化RFI作成 8.ToBeモデル作成(DFD、EEM)
第4回	11月1日(土) 9:30～18:00	1.業務環境分析 2.主要成功要因抽出	3.最適化手法適用基準作成 4.アクションプラン策定
第5回	11月8日(土) 9:30～18:00	5.行政目標設定 6.業務流れ図作成	7.詳細情報分析(複数取引)
第6回	11月15日(土) 9:30～18:00	8.スタンディング情報抽象化 9.イベント情報抽象化	10.ToBe情報モデル(UML)作成
第7回	11月22日(土) 9:30～18:00	11.EEMの作成	12.AAの作成
第8回	11月29日(土) 9:30～18:00	13.TAの作成 14.業務説明書(プロジェクトチャート)作成	15.IT投資ポートフォリオ作成 16.RFP作成

研修風景



【参加者数】

42名

【参加対象及び参加条件】

- ・EA(業務・システム最適化計画)を体系的に習得したい方。
- ・情報システム企画、調達、構築についての豊富な経験・知識を有すること。
- ・EAに関する事前学習を行うこと。
- ・事前学習資料

「情報システムに関する政府調達専門家について～ITアソシエイト協議会中間報告～」経済産業省 パブリックコメントページより

<http://www.meti.go.jp/feedback/data/i21227jj.html>

【お問い合わせ先】

財団法人ニューメディア開発協会 開発グループ

担当：山本勝己、乙丸文宏、大久保貴世

〒108-0073 港区三田1-4-28 三田国際ビル23階

Tel: 03-3457-0672 Fax: 03-3451-9604

E-mail: seminar@nmda.or.jp

【編集後記】

奥多摩の山々にハイキングに行ってきた。地球温暖化の影響ででしょうか、昨秋は例年に比較して紅葉が遅かったようです。青空をバックに赤いもみじや黄色い銀杏の葉を見ると、この素晴らしい地球環境は私たちの宝物のように思えます。

宇宙には、人類の生存を脅かす有害な電磁波がたくさんあると聞いています。それらの電磁波から私たち人類を守っているのは、地球の持つ磁場と地球の表面にあるわずか20数kmの大気層とのことです。太陽の活

動がほんの少し活発になっただけで、強力な太陽風が地球大気を宇宙の彼方に吹き飛ばしてしまいます。

ところで昨今の世界情勢を見ると、今も各地で多くの紛争の種を抱えているようです。宇宙で最も(?)恵まれた環境を持つ地球人。主義主張、宗教や体制の枠を越えて、地球人はもう少し仲良く共存できないものでしょうか。(TI)